

5月の朝会でのお話（令和3年5月12日）

皆さん、5月の生活目標は何か覚えていますか？

「無言ひざつき清掃で、学校をきれいにしよう」です。

ここで、「無言」ということについて考えてみます。

無言という意味はわかりますか。

そうです。お話ししないという意味です。

けれどここでいう無言というのは、単に、お話ししないでお掃除しましょうという意味ではありません。

実は校長先生は、心の中ではたくさんお話ししてもいいと、反対にしてほしいと思っています。

声には出さないけれど、たくさん考えたり、考えをまとめたり、こうしたほうがいいのかこれからすることを考えたり、逆にこうしないほうがいいのか、しないようにするとか、そんな風に、自分の行動を決めていくときに必要だからです。

これは難しい言葉で内言（ないげん）と言います。

校長先生は皆さんに、この内言によって、お部屋や廊下の隅にあるほこりやごみと心でお話をして、ピカピカにしてほしいと思っています。

そしてこの内言は、お掃除のときだけでなく、お勉強の時にもたくさんしてほしいと思っています。

本当のことを言うと、人は、実際に言葉を発してお話ししているときよりも、言葉を発さず心でお話しているときのほうが、ずっとたくさんのことを考えているのだそうです。

ですから、先生やお友達の話が無言で聞いているときに、この内言をつかって、心の中でたくさん先生やお友達の発した言葉をくるくるまわして、考えを巡らせてほしいと思います。

そうやって、自分の頭や心の中で考えを巡らせられると、先生やお友達の考えがどんどん濃くなって、頭や心にたまって賢くなります。

まずは、今月の目標、「無言ひざつき清掃で、学校をきれいにしよう」を頑張って、内言を体験してみてください。

学校もピカピカになりますし、皆さんも賢くなりますし、いいことがたくさんありますね。